

看護師特定行為研修修了者が 活躍できる場を創る

医療法人社団愛友会 上尾中央総合病院
看護管理室 小松崎 香



看護師特定行為研修修了者が 活躍できる場を創る

- ◇ 特定看護師活用を経緯
- ◇ 特定看護師が活躍している場
- ◇ 特定看護師活用の効果
- ◇ 今後の展望

病院の概要

所在地

埼玉県上尾市 上尾中央医科グループの基幹病院

病床数

733床(回復期リハビリテーション53床 緩和ケア20床 ICU・CCU22床
HCU28床 小児特定17床 感染症病床9床を含む)

附帯施設

透析クリニック 訪問看護ステーション

地域医療支援病院 地域がん診療連携拠点病院 災害拠点病院

職員数 2339名(医師275名 看護職員956名)

* 2024年4月1日現在の常勤

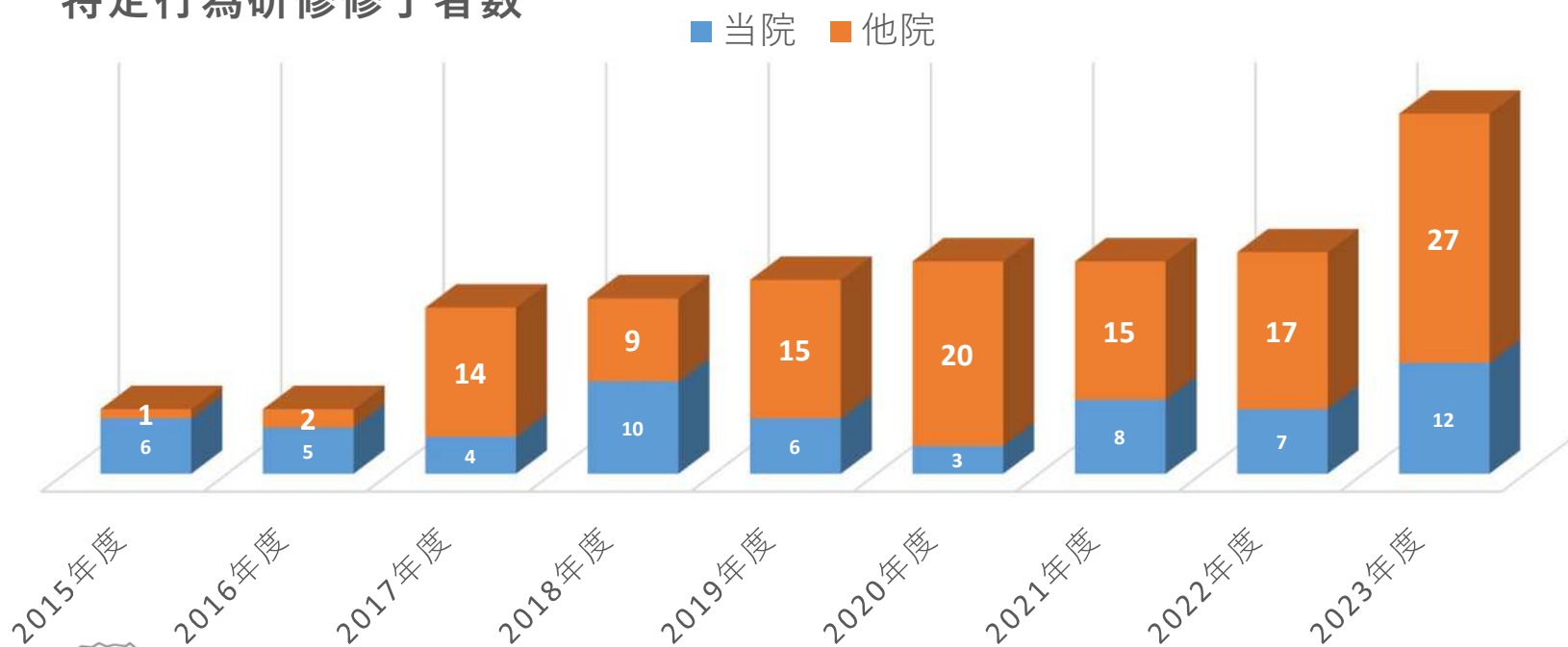
認定看護師22名 特定行為研修修了者44名



特定行為に係る看護師の指定研修機関

- 2015年から13区分27行為の看護師特定行為研修を開始
- 2024年より17区分33行為へ拡大

特定行為研修修了者数



Ageo Central General Hospital



ブラッシュアップセミナーの開催

看護師特定行為研修

ブラッシュアップセミナー

テーマ:『10年目だよ！全員集合！！』

日時：2025年2月1日（土）

14:00～17:00（受付開始 13:45～）

会場：上尾中央総合病院 B館8階会議センター
（JR高崎線 上尾駅西口 徒歩3分）

対象：看護師特定行為研修修了者、受講を検討している方

参加費：1,000円（当日現金にてお支払いください）

プログラム：QRコードからご確認ください

申込方法：QRコードよりお申込みください

申込期間：2025年1月20日（金）

申込はこちら プログラム



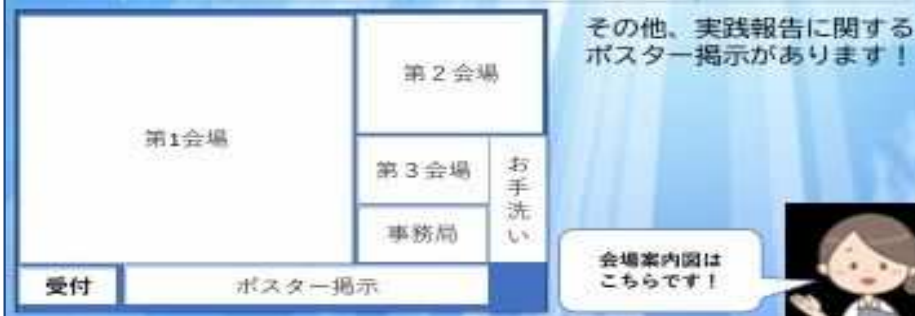
看護師特定行為研修

ブラッシュアップセミナー

2025年2月1日（土）14:00～17:00（13:45～受付開始）

～プログラム～

	第1会場：行為体験	第2会場：セミナー	第3会場
14:15～	行為別！体験コーナー 好きな時間に！好きな行為を！ 【展示＆体験予定】 ・エコー ・人工呼吸器 ・気管カニューレ ・Aライン ・動脈血採血 ・PICC	看護師が扱うエコー！ エコーの基礎を学ぼう！ 医師から直接伝授！ 胃ろうカテーテル交換を 安全に行うポイント PICCの挿入！ ポイントはここだ！ 活動体制の構築と実践	『研修受講相談』 今後、特定行為研修 受講を検討している 方へ！ 研修を受けるにあ たっての疑問や不安 を相談できます！
14:45～			
15:15～	・局所陰圧閉鎖療法 ・デブリードマン ・胃ろうカテーテル ・膀胱ろうカテーテル		
15:45～		訪問看護での活動報告と 課題を一緒に考えよう！ 実践報告とディスカッション	



Ageo Central General Hospital



特定行為に関わる組織体制

人材育成委員会

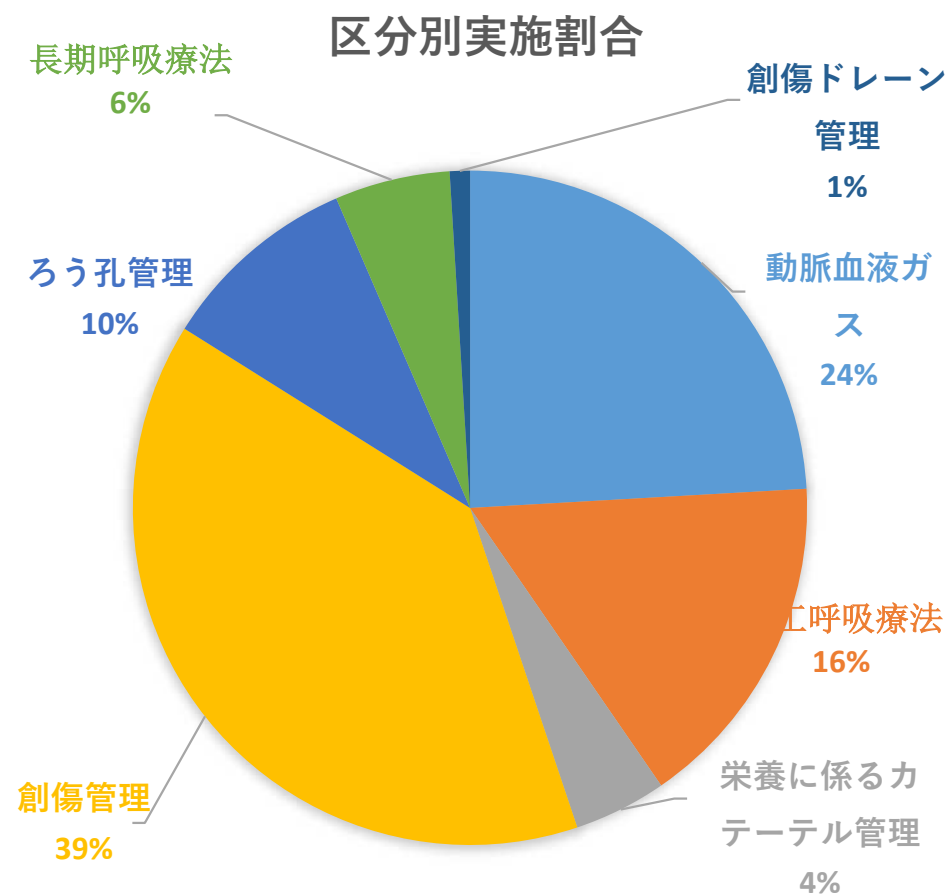
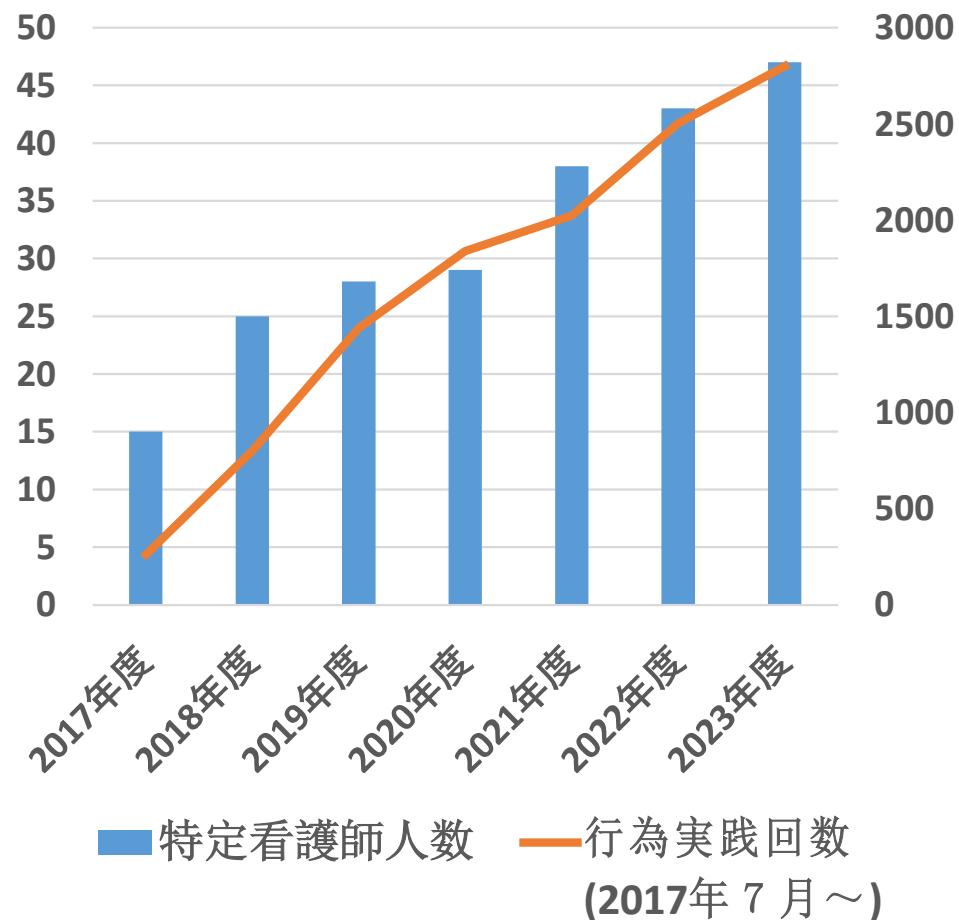
特定行為研修管理委員会

- 医療安全担当の副院長が委員長
- 研修の管理や実践を行う上での課題の解決策を外部委員を含む多職種で検討
- 手順書の承認

特定行為実践者部会

- 看護師特定行為修了者全員がメンバー
- 実践状況の報告・症例検討・手順書の見直し
- 実践する上での「困りごと」の確認

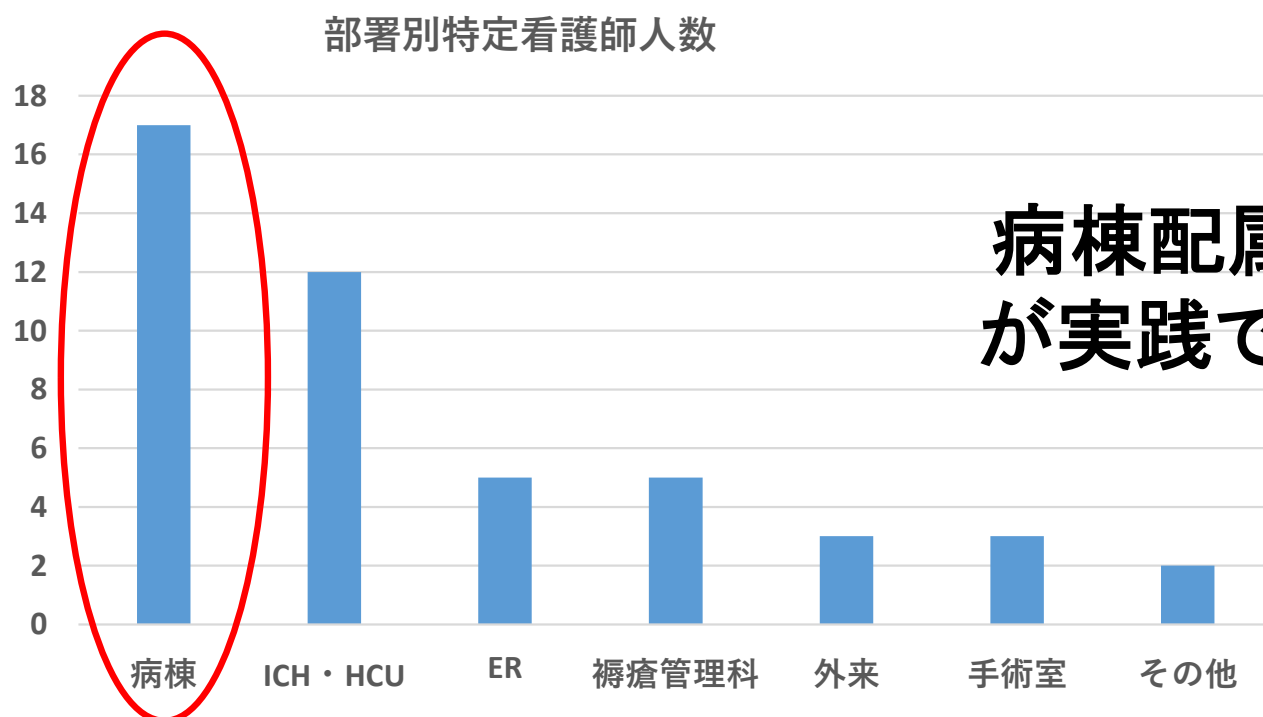
特定看護師の人数と実践件数



特定看護師活用の課題

年々特定看護師の人数や実践回数も増えてきたが、
一般病棟配置の特定看護師からこんな声が・・・。

「自部署で特定行為の実践の機会が少なく、不安です。」



**病棟配属の特定看護師
が実践できる環境を創る**

特定行為を実践する時間を創る

2020年度より、特定看護師に月2回以上の
活動日を設けることを取り決める

⇒活動日に他部署や、専門チームなどの組織横断的活動で特定行為を実践することで、身につけた知識や技術を維持し、さらに磨きをかける



部署の看護管理者の
特定行為に対する理解

組織横断的活動の場を創る

専門チームでの活動

<褥瘡対策チーム>

⇒褥瘡回診時に医師の直接指示にて、壊死組織の除去等の特定行為を実施し、以降は包括指示での実践

<NST>

⇒ラウンドやカンファレンスに参加し、栄養管理関する知識を他職種と共有

(栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連)

早期栄養プロトコールの作成に関与

組織横断的活動の場を創る

専門チームでの活動

<RRT>

⇒病状が悪化してる患者に対してのアセスメントや
医師の直接指示による、血液ガスの採取

<RST>

⇒ラウンドに同行し、医師の直接指示での人工呼吸器の設定変更を実施し、以降は包括指示での実践

組織横断的活動の場を創る

他部署での活動

＜胃ろう・膀胱ろうカテーテル、気切カニューレ交換＞

⇒定期交換日の特定看護師の担当表を作成し、担当日は外来や他部署で特定行為を実施する

＜動脈血採血＞

⇒静脈採血が困難な患者の動脈採血を特定行為で実施する

院外で活躍できる場を創る

附帯施設での活動

<透析クリニック>

⇒特定看護師が定期的に出向し、病院のフットケア外来で行っていた創処置を患者がクリニックの透析に来院したタイミングで実施する

<訪問看護ステーション>

⇒院内での特定行為の実践で、知識・技術をブラッシュアップしながら、週1回訪問看護ステーションへ出向し、在宅での特定行為活用を模索する

特定看護師活用の効果

- 医師の負担軽減
- 医師を待たずに、患者の療養スケジュールに合わせて、最適なタイミングで医行為が実施できる

⇒ 患者の利益・看護業務の効率化

- 部署の臨床判断能力の向上

今後の展望

地域・在宅療養者へ活用範囲の拡大

特定看護師の24時間病棟配置を目指す

ご清聴ありがとうございました

